

俱知安農業高校の取り組みが全国で高評価 これからの活躍にも期待

和牛の取り組みへの評価高く

俱知安農業高校の畜産班が『第2回全国高校生農業アクション大賞』の大賞審査に進出、11月16日(月)にオンラインにてプレゼンテーションを行い、審査の結果、奨励賞を受賞しました。

『全国高校生農業アクション大賞』は農業高校の生徒グループによる農や食に関するプロジェクトなどを3年間支援、その取り組みや実績を顕彰すること
で『持続可能な農業』に資することを目的に行われており、同校畜産班は2018年に認定を受けました。



▲賞状とトロフィーを手に
(左から日扇さん、高橋さん、片野さん)

この結果に対し、同校3年畜産班の高橋遼(りょう)さんは「欲を言えば大賞や準大賞を受賞したかったという悔しさもありますが、3年間続けてきた活動が評価されたことには、非常に満足しています」と話していました。

こだわりの米 決勝大会へ

また、同校は山形県庄内町で開催された『第14回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト』に生徒らが栽培した米を出品、高校生部門38校60品種の中、25点満点中最高点となる20点で決勝に進出し、11月28日(土)の審査により優秀金賞を受賞しました。

なお、同校としてはこれまでのコンテストに4度出品をしていますが、今年度が初めての決勝大会進出となりました。

出品した米は『特別栽培農産物に係るガイドライン表示(農林水産省)』に沿って栽培されたもので、同校2年作物班の行天勇祐(ゆうすけ)さんは「俱知安農高として初の決勝進出は大変うれしいです。次は最優秀金賞となるよう、さらに良いものを作りたいです」と感想と意気込みを語ってくれました。



▲副賞の山形県名産ラ・フランスを手に
(左から田形さん、浦口さん、行天さん)

パラ競技体験を通じ 共生社会を考える

俱知安高校で12月4日(金)、東京パラリンピックを契機として多様性を尊重する「共生社会」について生徒に理解・意識してもらうため、障がい者スポーツを体験する授業が行われました。

この日の授業では、ヨーロッパが発祥とされる障がい者スポーツの一つで、「地上のカーリング」とも呼ばれている「ボッチャ」を同校2年生が体験。ルールを学んだ後、数人ずつのグループに分かれて実際にプレーをしました。

また、別の日には、目隠しをした状態で移動したり、ボールを蹴ったりすることの難しさや大変さを体験する授業が行われるなど、生徒はスポーツを通じ、多様性の尊重や障がい者や健常者が共生する社会について、理解を深めました。



▲「ボッチャ」は、的となる白いボールを目掛けてチームごとにボールを6球投げ、よりの近くにボールを投入する

冬休みは南児童館で 特別な思い出を

南児童館では、冬休みの特別イベントとして、大画面で映像を楽しむ「ハッピーニューイヤー・ムービーシアター」を次のとおり開催します。

■日時／1月8日(金)・13日(水)・14日(木)の①10時30分、②11時30分、③13時30分、④14時15分、⑤15時から各回30分程度
※①・②は未就学児の親子、③～⑤は児童が対象
■定員／①・②は5組、③～⑤は10人(先着順)

※マスクの着用や手指の消毒・室内の換気などの感染対策にご協力ください。また、上映中の撮影・飲食などは禁止です

さらに、リニューアルによって、2階が大きく変わりましたので、今年の冬は南児童館に足を運んでみませんか。

■南児童館 ☎22-0419
(開館時間…月～金曜日の9時30分～12時、13時～17時)



小中学生・高校生が子ども議会 まちづくりについて質問

参加者に議会を身近に感じてもらうとともに、子どもたちの意見をまちづくりに反映させるため、俱知安町青少年問題協議会・俱知安町教育委員会・俱知安町青少年育成会が毎年実施する「子ども議会」が、11月23日(月)に役場3階議場にて開催されました。

今年は町内の小・中・高校から10名の児童および生徒が参加し、「子ども議員」として、町長や教育長に対して町政に関する質問を

行った他、議会の進行を担う議長や事務局長の役も俱知安中学校の生徒が務めました。
児童・生徒は質問から答弁までの一連の流れを体験することで、町議会や町政への理解を深めました。



北3条通り踏切移設工事に伴う 町道通行止めのお知らせ

北3条通り踏切移設工事に伴い、町道北3条西通の一部が下記のとおり通行止めとなります。ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

■期間／①4月中旬から10日程度、②5月下旬から30日程度、③10月下旬から1日程度、④11月上旬から30日程度

■内容／終日車両通行止め(歩行者および自転車は通行可)

※③の期間は歩行者および自転車も通行不可

■迂回路／

道道58号線(南一線跨線橋)・町道北7条通北線(苗圃踏切)など

■JR北海道札幌新幹線工事事務所

☎011-758-7251



質問事項(一部抜粋)

町体育施設について

老朽化している体育施設を新しく建て直す予定はあるか。

町営プールの改修と通年利用について

町営プールの改修はいつ頃終わる予定か。また、現在は夏季のみの営業だが、通年利用することは可能か。

町内店舗のコロナ対策について

消毒液を置くなど、町内飲食店の感染対策について、町としての決まりはあるのか。

公園の遊具について

高学年でも遊べる遊具を設置してほしい。また、さびている遊具があり、危険なので安心して遊べる公園にしてほしい。

俱知安町のこれからのについて

外国籍の住民が多く暮らす国際交流が多い町として、今後の町をどう考えるか。

道路の整備について

道路の補修や街灯の増設など、登下校中に危険だと感じる道路の整備をしてほしい。

町外通学生への助成について

町内にある高校の生徒には町外からの通学生も多く、ボランティア活動や町内の店舗利用などで町に貢献しているため、町外通学生に助成などをするのは可能か。

いま私たちにできることについて

コロナ禍でイベントなどに制限がある中でも、さまざまな活動に努めてきたが、今後も町のために何かできることはあるか。

雪や寒さが原因となる二次災害も 冬の大地震への備えを



冬に大きな地震が発生すると、雪や寒さに起因した二次災害が起こることもあります。冬場は以下に注意しましょう。

①雪への備え／屋根の積雪は、地震の揺れによる家屋の倒壊や落雪の原因となります。また、冬は路面状況も悪く、夏場に比べ避難に時間を要します。避難路を事前にハザードマップなどで確認しておきましょう。

②火災への備え／冬場の地震は暖房器具による火災のリスクが高まります。暖房器具周辺に可燃物を置かないようにし、避難の際はブレーカーを切りましょう。

③寒さへの備え／地震で電気やガスが止まり、暖房器具が使えなくなることが考えられます。ポータブルの暖房器具を用意し、防寒着や毛布、カイロなどを準備しておくで安心です。

■札幌管区気象台地震火山課

☎011-611-6125